

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くるべ



今日と明日のあいだ。

特集「交流と体験」

2023
03
March

スマイルワーカー 福本拓海さんのお話

写真レポート

広がる食料支援の輪

〔編集・発行〕 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和5年3月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。自宅での検温、来館時にはマスクの着用をお願いいたします。

2023
3

介護予防のための

元気はつらつ体操教室

黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

★新規参加者随時受付中

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1 自力整体	2 体力測定 体操	3 体力測定 体操	4
5	6	7 体力測定 体操	8 体力測定 体操	9 自力整体	10 脳トレ	11
12	13	14 自力整体	15 フレイル 予防講座	16	17 自力整体	18
19	20	21 春分の日	22	23 音楽療法	24 音楽療法	25
26	27	28 音楽療法	29 音楽療法	30 体操	31	1

フレイル予防講座

明治安田生命

音楽療法

畠山 悦子 先生

自力整体

稲田 清美 先生

脳トレ

くろべ 脳トレクラブ

体力測定 / 体操

小森 亜希子 先生

は休館日

時間/10:00~11:00

対象/65歳以上の方

参加費/300円(入館料のみ)

★令和4年4月より、生き生き倶楽部の予定は広報くろべにて掲載しております。

健康の



知識

【我が家の財産】

お年寄りの健康は 我が家の誇り
 お父さんの健康は 我が家の保証
 お母さんの健康は 我が家の幸せ
 子どもの健康は 我が家の希望

～ありがとう 感謝します～



今月の表紙

夕日が沈みかけている海岸では、防波堤で魚を待つ釣り人の姿が。海面に空が映るくらい波が穏やかで静かな景色が広がるのを見て、ずっと黒部にいるからこそ見落としていたものがあつたと気づかされました。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 **黒部市社会福祉協議会**

<http://www.kurobesw.com/>



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市ふれあい福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています



ちよこつと情報 [黒部市の人口] 39,979人 [65歳以上の人口] 12,877人 高齢化率 32.2% R5.1.31 現在

地域おこし協力隊の任期を2021年5月に終えた小澤泰史(こざわ たいし)さん(35歳)。東布施地区の空き家を購入して昨年の12月に、宿泊機能を併せ持つ交流と体験の拠点「黒部ゲストハウス『未完なサン』」をオープン。訪れた人とともに空間を作り上げていきたいという思いから、あえて名称に「未完」と付けて、新たなスタートを切った小澤さんを紹介しします。

富山県で暮らしたい

旅行が好きだった小澤さんは、海外のゲストハウス(※1)で外国人と交流した経験や飛騨高山にあるゲストハウスのオーナーの「いろんな人が来るからここにいながら旅をしているみたいだよ」という言葉に魅力を感じてゲストハウスに興味を持ちました。「僕は旅が世界を平和にすると思っていて、相手を許せない気持ちがあるから争いごと、ひいてはテロ、戦争が起こるんだと思うんです。それって、相手のことを知らないから許せる気持ちもないんですよね。旅をすれば訪れた地域の文化を知れるから、もつとお互いが、いろんなことを見て相手を理解したり思いやれるようになったりしたら、争いごとが少しでも減るんじゃないかと思うんです。そういう考えもあって、今度は自分の所に来てもらいたいと思いました」と話します。

2015年頃からは毎月友人と富山県内を訪れ、黒部では市内の高齢者夫婦宅で宿泊体験をしたり、魚の駅「生地」で魚のさばき方体験に参加したりしました。そこでお世話になったご夫婦や魚の駅「生地」の当時支配人だった方とはその後も交流していました。「僕は愛知県の漁師町生まれで福岡県の里山育ちなので、海と山が近い場所で暮らすことが理想で、そういう場所です。ゲストハウスができたからおもしろいなとも思っていたんです。そしたら偶然、地域おこし協力隊の募集を見つけて、黒部だったら困った

ときに頼れる人たちがいると思ったし、何度も訪れて良い所だなと思っていたので応募しました」と小澤さん。



愛猫のサンくんと暮らす小澤さん

当たり前前の日常がおもしろい

地域おこし協力隊の活動では東布施地区を度々訪れ、人々の生活を身近に感じてきました。「山菜を水煮にして売っていたり塩漬け保存して食べていたり、黒部川でグミを採ってグミ酒やジャムを作ったり、黒部全体を見ても、その土地にあるものを使って生活しているのがおもしろいなと思いました。それに、東布施には炭

焼きが残っていて、布施谷(ふせんたん)祭りや見晴らしの良い休耕田で行者(ぎょうじゃ)にんにくを栽培しているのもおもしろいなと思いました」と話します。

退任後は、農家とみそ工場の仕事や農村体験事業などに携わりながらゲストハウスのオープンに向けて準備を始めました。農村体験では、地域の人々に協力してもらいながら田植えと稲刈り体験や炭焼き体験、郷土料理体験などができる場を提供しています。また、東布施からそば作りが途絶えないように、地域や体験参加者と一緒にそばを作っています。



「豊かな暮らし探検隊@黒部」でも活動



男性の料理教室

12月14日(水) / 東布施公民館

食生活改善推進員の方々に教わりながらおでん作りに挑戦し、だしをとった昆布を細かく切っておにぎりも作りました。また、食生活改善推進員の方々が大根の葉と皮できんぴらを作り、食材を無駄なく使うことも意識しました。



3年間育てたこんにやく芋でこんにやく作り

1月27日(金) / 浦山交流センター

浦山地区の中陳保昌さんに半日以上かかる工程を習い完成しました。食感は歯ごたえがあり、柚子みそやワサビ醤油をつけるととてもおいしいです。参加した野畑秀樹さんは、「自分もこんにやく芋を育てたい」と話しておられました。



全国の被災者支援のために

12月21日(水) / 黒部市福祉センター

黒部市自治振興会連絡協議会より、被災された方々の支援に役立ててほしいと黒部市共同募金会へ義援金をいただきました。皆様からのあたたかい善意は、富山県共同募金会を通じて被災者に届けられます。



男性の介護予防教室

1月30日(月) / 石田交流プラザ

黒部市石田赤十字奉仕団と石田地区ボランティア部会の方々と一緒に「100年前の海軍カレー作り」をしました。参加した方は「みんなで作ると楽しさが増してよかった。次も参加したい」と話されていました。

地元の人でも使える場所に



地元の方と炭焼きの薪割り作業

ゲストハウスでは、市外から来る人に山菜採りやタケノコ掘り、料理やそば打ちなど、黒部の暮らし体験を提供できるようにしたいと考えています。「体験する中で地元の人と交流が生まれて、また来たいと思ってもらえるようにしたいです。地元の人たちにとっては当たり前に思うことが、市外の人にはすごく珍しいことでもあるので、普段の生活をちょっと伝える感じでやっていきたいと思っています」と小澤さん。

また、市内や東布施の人たちにも遊びに来てほしいと思っています。準備期間のときは、近所の方々に片づけを手伝ってもらったりファンヒーターを譲ってもらったりしました。東布施

誰でも日常を味わえる地域へ

小澤さんは、東布施の方々やマレーシア人を迎え入れたこともあります。「イスラム教の方で食べられるものが限られていたので、地域の



東布施の杉の木を使ったカウンター

消防団のみなさんや親しい先輩方には家の漆喰を塗ってもらい、中に入れてもらう機会をつくっていきました。「宿と言ってしまうと泊まらない人は入りづらいと思うので、宿もあって交流できる、リフレッシュできる場所にしたいですね。地元の人がここに来ないと訪れた人との交流が生まれないので、どうしたら東布施の人に気軽に来てもらえるか、どういう空間だと使いやすいか、実際に使ってもらって地域の人の声を聞きながら探していきたいと思っています。仕事をしたいから部屋を借りたいと言われた方もいて、宿泊者がいないときは部屋貸しもできると気づけました。そうやって地元の人でも使えるゲストハウスにしたいですね」と話します。

※1 ゲストハウス
低料金で宿泊できる簡易的な宿泊施設

黒部ゲストハウス「未完なサン」
住所…黒部市中陣502
TEL..090・6574・7391

Facebook



お母さんと食材の代替えについて話をしていたんです。そのときに外国の方を受け入れられる東布施地区を誇りに感じました。黒部は世界に工場を持っている企業があるので、試行錯誤しながら世界中の人を呼べる環境が日常の中にあると思います。それに、日本からいろいろな人が来るので地域の伝統もできる範囲で残して行くことが大事だと思うんです。外から来た人の手伝いもあって存続できると思うので、やり方を変えたり他の町内から協力を得たりするのも良いのかなと思います」と話します。

当たり前前に感じていることが、実は地域の魅力であり大切にしていきたいことで新たな出会いと交流が生まれます。黒部には、訪れた人が地域の伝統も含めた日常を味わえる良さがああり、広い視野で新しいことにも挑戦していくことで、その良さが続いていくのだと思いました。

黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/9:30~16:00 入浴/10:30~15:30
※休憩時間、入浴時間が短縮になっております。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。

3月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)
祝日の翌日のため22日は休館日です。

4月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日)
祝日の翌日のため30日は休館日です。

催し物と休館日のご案内

今月のクラブ

ポールウォーキング

金曜日(10日・24日) 13:30~15:00
場所:石田交流プラザ(現地集合)

囲碁・将棋クラブ、元気カラオケクラブにつきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月は開催を中止とさせていただきます。



誕生日のお祝いに福祉センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り・・・3,000円

地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に寄付をいただきました
ありがとうございました

明治安田生命 黒部営業所 様

NPO法人 黒部まちづくり協議会 様

YKK労働組合・YKK AP労働組合 様

旧 黒部市信用農協
ゴルフ愛好者「信農グリーン会」 様

合同会社 善商 様

関西電力株式会社 黒部川水力センター 様



合同会社 善商 様



関西電力(株) 黒部川水力センター 様

今月の相談日

弁護士と法律相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
3月14日(火) 13:30~15:30 / 予約受付3月1日より※先着4名
相談内容問わず、年度につき
1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター 生活自立支援相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
3月13日(月) 10:00~11:30 / 予約受付3月1日より

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、相談員の変更や中止となることがございますので、ご了承ください。

Q. お仕事に対する思いを
教えてください。

就労継続支援A型事業所として、精神障がいの方や知的障がいの方の就労に向けて支援しています。ここでは、一般企業へ配達するお弁当と高齢者向けの配食弁当を作っており、スタッフと利用者が一緒に食材のカット、おかず作り、カップ詰めなどの作業をしています。人と関わる仕事なので全く同じ日はなくて、利用者さんの表情や気分も違いますし、前日と同じ作業でも注文数などによって内容が変わってきます。その中で利用者さんの新たな一面を発見できることがこの仕事の魅力です。日々勉強になることばかりで、利用者さん方とともに私たちも成長できています。

スマイル ワーカー



サービス管理責任者
福本拓海さん
(ふくもとたくみ)



株式会社C3ぶらす(シースリーぶらす)
シースリーキッチン



趣味

出かけること

WAWAWA
(輪・笑・和) ネットワーク

広がる食料支援の輪

黒部中央ロータリークラブ、黒部ロータリークラブ、宇奈月ロータリークラブより食料品や日用品の寄付をいただきました。いただいた品物は、生活困窮者や自立支援施設等に配布します。たくさんのご協力ありがとうございました。



黒部中央・黒部ロータリークラブ 様



宇奈月ロータリークラブ 様